

～ ベストプラクティス企業への職場訪問 ～

徳島労働局長が（株）DNP 四国を訪問

徳島労働局では、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、令和元年 11 月 15 日（金）、日根徳島労働局長が長時間労働削減に積極的に取り組んでいる企業として（株）DNP 四国を訪問しました。伺った主な取組を次の通りご紹介します。



株式会社 DNP 四国の主な取組

- DNP グループでは 2009 年から時間資源創出プロジェクトに取り組み、時間外労働時間を年間平均し、1 人 20 時間/月以下とすること、1 年間に 6 日以上の年次有給休暇を取得することが目標とされました。
- この目標を達成するために、2 組 2 交代制を 3 組 2 交代制に変更することで対応し、目標を達成しました。
- 年次有給休暇の取得促進については、年 5 日の年休取得奨励日を設置して取得を勧

めました。その後、年次有給休暇を取得する意識が従業員に生まれたので、奨励日を3日に短縮し、残りは従業員からの請求によることにしました。

- 「病気で休むことがあるのに、病気でないときに休むことができないことはない。段取りをつければ職場に迷惑をかけずに休める。」と社長からのトップメッセージを伝え、また管理者には、「年次有給休暇取得の申し出があったときには嫌な顔をしないように。」と指導しました。
- 毎月、時間外労働時間と年次有給休暇の取得状況の報告を各部署から求めています。

『長時間労働削減をはじめとする「働き方改革」に向けた取組に関する要請書』を説明する日根徳島労働局長。
さらなる「働き方改革」への取組を進めていただくようお願いしました。



報道機関のインタビューに答える山入端社長。

「長時間労働の削減や年次有給休暇の取得促進には、トップが意識を変えることが大切。トップが変われば社員の意識も変わる。」と回答されていました。